2050年 脱炭素社会に向かって
建築物のLCA評価の進捗状況は？

2022年7月に日本政府が「GX実行会議」を設置してからちょうど２年半。
『GX(※1)実現に向けた基本方針』を閣議決定したのが2023年２月。
『GX推進戦略』が閣議決定されたのは2023年７月。

GXでは建築物のLCA評価 (※2) について、評価方法の構築がスケジュール化されています。
それでは実際のところ今、どんな段階まで来ているのでしょうか？
また、世界における潮流は、どのようなものしょうか？

今回のセミナーでは、建築物における「LCA評価」「ライフサイクルカーボン」「ホールライフカーボン」「エンボディドカーボン」「アップフロントカーボン」などよく似ているが今さら尋ねにくい用語について解説します。またこういった取り組みで先んじているEU内においての、取り組みや具体的な規制の状況について解説し、世界の動きを紹介します。

さらに、昨年度のPJ100セミナーでも登壇いただいた、この建築評価の動きについて詳しい畫場氏をお招きし、現在日本で公開されているホールライフカーボンを算定できるツール「J-CAT」について解説。参加者の皆さんと共に日本の脱炭素未来についてディスカッションを行います。

※1　GX：グリーントランスフォーメーションの略。化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動。日本政府は 2022年７月に「GX実行会議」を設置、2023年７月にGX推進戦略が閣議決定している

※2　LCA（ライフサイクルアセスメント）：製品やサービスの原材料調達から廃棄に至るまでのライフサイクル全体における環境への負荷を定量的に評価する手法

2025年 1月 15 日（水）
18:30 ~ 20:00

① 「建築物のLCA評価の進捗状況は？」
村上　敦（40分）

② 「J-CATについて」畫場 貴之（20分）

③ 質疑応答＆ディスカッション（30 分）

@クラブヴォーバン新橋事務所
（東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階）

※ 終了後新橋オフィスにて懇親会（参加費各自）

事前申し込み要:CVサポーター及び自治体会員のみ参加費無料 （法人および自治体の方は3名まで）

※ZOOMでは、レクチャーのみご聴講いただけます。質疑やディスカッションにはご参加いただけません。

村上 敦
環境ジャーナリスト・コンサルタント /CV代表

ドイツ在住。ゼネコン技術者を経て97 年に渡独後、持続可能なまちづくり・交通・エネルギーをテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を日本に発信。主な著作「キロワット・イズ・マネー」「ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか」「進化するエネルギービジネス」他。

畫場 貴之
(株)イズミコンサルティング調査研究部部長 /(一社)日本エネルギーパス協会理事

岩手県出身。日本大学大学院卒。CM会社、ゼネコンを経て日本ERIにて省エネ適判・BELSなどの制度設計に携わる。2023年4月よりイズミコンサルティングにて、設計者・事業主へのZEH、ZEB、LCCO2などのコンサルティングを行っている。

■問い合わせ・申込み先■

一般社団法人クラブヴォーバン
Email　mail@club-vauban.net

①ご氏名 ②ご所属（法人および自治体の方） ③メールアドレス ④現地 or オンライン参加　⑤懇親会参加有無　を明記
後日参加に必要な情報をメールにてご連絡します